

平成30年2月26日

国立市教育委員会  
教育長 是松 昭一 様

第22期国立市社会教育委員の会  
議長 柳田 憲一

「(仮称)生涯学習振興・推進計画に関する提案内容と他自治体事例」  
について (意見)

当会は、平成29年5月23日付け国教生発第51号をもって諮問のあった「生涯学習振興・推進計画について」を受け、第21期答申に基づく重点施策に関わる提案内容や他自治体の事例について議論してまいりました。

その成果として、別紙の「(仮称)生涯学習振興・推進計画に関する提案内容と他自治体事例」として取りまとめたので、(仮称)生涯学習振興・推進計画の内容を検討している庁内検討委員会にお示しいただき、計画骨子案や素案を策定する際の参考としていただけますようお願いいたします。

以上

(仮称)生涯学習振興・推進計画に関する提案内容と他自治体事例

基本施策	重点施策	提案内容	効果・魅力	課題・懸念	備考	No.	事例	概要
1)学習情報の収集・発信	情報発信を一カ所に共有する	情報誌・リーフレットの発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の講座情報や生涯学習活動、施設情報などがほぼ俯瞰できる。</li> <li>・市民編集委員やインターンシップの仕組み等、学生、市民や民間の力を借り、作成することができる。</li> <li>・誰でも手軽に手に取って情報が得やすい。</li> <li>・公共施設や商店などに置くことで、利用者や訪問者のさらなる参加を促すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各戸配布されない場合、印刷部数が全世帯の3%程度など(他市事例より)、ニーズのある人にも行き届かない可能性がある。</li> <li>・様々な情報を集約する仕組みが必要。</li> <li>・わかりやすく手に取りたいようなデザインやレイアウトの工夫が必要。</li> </ul>		1	町田市 「『生涯学習NAVI』について」 「南市民センター(出張所)で入手可能な紙媒体」	町田市は、出張所でも生涯学習NAVIをはじめ、各種チラシなど、様々な情報を入手できる。 年4回、生涯学習NAVIという生涯学習情報をまとめた冊子を作成している。インターンシップを導入し、学生が市職員とともに編集に参加している。＝民間の力の活用 公募で選任された市民編集委員による講座イベント体験レポートは、参考になるとともに中立性のある程度担保している。
						2	立川市「講座ガイド・きらり・たちかわ」	全ての部署や施設で実施する行政企画講座、市民自身が企画・実施する市民企画講座などをまとめた情報誌。年4回発行。 市民推進委員会が編集等に参画している。
						3	さいたま市「生涯学習情報システム・生涯学習情報誌『まなべル』」	公共施設や市内の大学で開催を予定している講座・イベントなどを掲載した情報誌。年2回発行。
						4	さいたま市「生涯学習パンフレット『あなたの学びを応援しますくさいたま市の生涯学習>』」	市内の生涯学習情報をまとめたリーフレット。施設紹介、生涯学習情報サイトの紹介に加え、学区集成果を地域で活かしている方のインタビューも掲載している。
		情報を集約し、インターネット(WEB)を活用した情報紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の講座情報や生涯学習活動、施設情報などがほぼ俯瞰できる。</li> <li>・市が提供する学習情報が増え、市民が情報を得やすくなる。</li> <li>・ポータルサイトを導入すれば効果が高まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPのアクセスしやすい位置に情報を置かないと、見てもらいにくくなる。また、SNSとの連携も必要。</li> <li>・様々な情報を集約する仕組みが必要。</li> </ul>		5	東大和市 「清泉女子大学にて文学・芸術・文化・教養・講座を自由に学べる。」	清泉女子大学で一般向けに実施している講座情報を、東大和市のホームページで情報提供する。
						6	町田市HPで生涯学習情報の提供	町田市のHPは生涯学習情報が充実しており、様々な情報を入手できる。生涯学習NAVIもホームページで閲覧できる。
		自治体間の情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都・市町村を超えた情報共有と発信</li> <li>・自治体間で連携し講座・イベント等の情報を共有し、幅広い情報を集約する。</li> <li>・情報を共有することで、スマホアプリ、ポータルサイトと合わせてその地域の住民は幅広い情報を一度に得ることが可能になり、多様な学習機会の提供にもつながる。</li> <li>・人材・指導者等の情報も共有すれば人材交流を促進することも出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長い歴史のある国立市の社会教育の独自性を失わないようにする必要がある。</li> <li>・国立市だけでは実現できない。複数の自治体との調整が必要。</li> </ul>		7	ドイツ・フォルクスホッホシュレ連合 「オンライン・ポータルサイト」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツ中のフォルクスホッホシュレで開講される講座を集約。</li> <li>・テーマと場所によって検索が可能。</li> <li>・オンライン学習</li> <li>・遊びながら学習意欲をそそるコンテンツ(語学クイズ Sprachspiele、学習ソフト「ヴィンターフェスト」)</li> <li>・ドイツ語学習の重視(「多様な学習機会の充実」)</li> <li>・スマホアプリ「Die vhsApp」</li> </ul>

基本施策	重点施策	提案内容	効果・魅力	課題・懸念	備考	No.	事例	概要
インターネットやソーシャルメディア等のさらなる活用	ポータルサイトの構築		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を集約した上で、テーマ、場所等様々な切り口で検索できるようにし、効果を高める。</li> <li>・イベント情報も掲載することで効果が高まる。</li> <li>・学習意欲をそそるオンライン学習コンテンツも掲載すれば、効果が高まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習コンテンツについては、制作に手間がかかる。</li> <li>・他の自治体との連携が可能かどうか。</li> </ul>		8	ドイツ・フォルクスホッホシュレ連合「オンライン・ポータルサイト」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツ中のフォルクスホッホシュレで開講される講座を集約。</li> <li>・テーマと場所によって検索が可能。</li> <li>・オンライン学習</li> <li>・遊びながら学習意欲をそそるコンテンツ(語学クイズ Sprachspiele、学習ソフト「ウィンターフェスト」)</li> <li>・ドイツ語学習の重視(「多様な学習機会の充実」)</li> <li>・スマホアプリ「Die vhsApp」</li> </ul>
		Facebookを使った学習情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを使って情報を得られる。</li> <li>・自分から探しに行かずとも随時に情報が届くため、便利である。</li> <li>・20代～50代の比較的若い層に情報が届く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Facebookで発信していること自体を周知する必要がある。</li> <li>・関心をもって、フォロー(受信の意思決定)をしてもらう必要がある。</li> </ul>		9	大分県「まなびの広場おおいた」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の総合ポータル</li> <li>・講座、人材・指導者、施設を検索できる。</li> <li>・インターネット講座</li> <li>・講座イベント情報など。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを使って情報を得られる。</li> <li>・自分から探しに行かずとも随時に情報が届くため、便利である。</li> <li>・20代～50代の比較的若い層に情報が届く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Facebookで発信していること自体を周知する必要がある。</li> <li>・関心をもって、フォロー(受信の意思決定)をしてもらう必要がある。</li> </ul>		10	八王子市「生涯学習講座・イベント情報Facebook」	生涯学習センターで開催している講座・イベント情報等をFacebookを活用して随時発信している。運用ポリシーも作成・公開している。
多様な学習機会の充実	体験学習の実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領に示された「学びに向かう力、人間性等」の育成が期待できる。</li> <li>・子供たちの夢づくりを学校・家庭・地域が連携して支援する機運が高まるとともに、結果的に健全育成につながる。</li> <li>・世代を超えた人のつながりがあり、共生社会を目指す本市の基本方針に合致する。</li> <li>・子供たちを含めた市民に本市の公的機関や民間企業等をよく知ってもらえる機会となる。</li> <li>・この取組を市内外に発信することで、文教都市国立、住みやすい街国立をアピールすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの公立中学校が市内ですでに職場体験学習を行っているため、その取組との関連をどう考えるか。また、民間が実施している取組との関連をどう考えるか。</li> </ul>		11	横浜市「子どもアドベンチャー2017」	各団体が多様なプログラムを実施し、小・中学生が体験・見学を行う。また、市庁舎前に総合案内を設置し、参加者への案内等を行う。
		市内・近隣大学等の教育機関と連携した講座の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学等教育機関の連携により多様で充実した講座の提供</li> <li>・地域と大学等教育機関の共生の促進(国分寺市は37年の実績という長い歴史を持つ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学等教育機関との協働事業は、学校の協力がなければ実施できない。</li> </ul>	学校教員の負担軽減が課題となっている中、放課後の子ども・若者のために、学習や文化・芸術・スポーツに触れることの出来る機会を提供する地域の受け皿の形成が求められる。	12	国分寺市「市民大学講座」	国分寺市と東京経済大学が共催する市民大学講座
		科学への関心を呼び起こすイベントや講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちに夢と希望を与えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な講師、実験装置の準備が必要。</li> </ul>		13	八王子市「八王子学園都市大学 いちよう塾」	地域の25の大学・短期大学・高等専門学校、企業及び市民と協働して市民が意欲を持って学ぶ機会の提供を目的として平成16年9月に「八王子市学園都市大学(愛称:いちよう塾)」を開学させた。
						14	科学への関心を呼び起こすイベントや講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体例) 福岡県、熊本県、東京都他</li> <li>1) 体験学習による化学、実験イベントについて。</li> <li>2) 人工知能、シンギュラリティなどの未来に対する哲学的思考。</li> <li>3) カメラ・ドローン・AR・VRなどの新技術普及活動。</li> <li>4) 音声認識、手文字認識技術の活用。</li> <li>5) 情報発信源、情報リクエスト元の位置情報表示。</li> </ul>
2) 学習機会の充実	子ども・若者をめぐる様々な活動への支援の充実							

基本施策	重点施策	提案内容	効果・魅力	課題・懸念	備考	No.	事例	概要
	文化・芸術・スポーツ振興に触れられる環境の充実							
	主権者ならびに地方自治の主体としての意識と力量を形成する学習機会の確保・充実							
	社会や地域への参画を目的とした学習の支援							
	ボランティア・市民活動に参加する市民のさらなる力量形成	地域活動につながるイベント・講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域での仲間づくりの一助となる。</li> <li>地域への関心を高める効果がある。</li> <li>学習を支援されることで市民活動の場が広がる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者をどのように集めるのか、周知・広報が課題。</li> <li>地域のNPO・ボランティア団体への呼びかけ(参加者を具体的に地域デビューや地域活動にどう結び付けるか)。</li> <li>イベント後のフォロー体制(1回でなく継続させる)。</li> <li>シニアについては、定年前の段階から地域デビューの準備を支援する取り組みが必要である。</li> </ul>		15	八王子市 「お父さんお帰りなさいパーティー ～地域デビューのお手伝い～」	仕事中心の生活を送ってきたお父さんも、定年を迎えれば多くの時間を地域で過ごすことになる。そのような定年後の人を中心に、地域デビューのお手伝いをする。
						16	川崎市 「50代からの生き方講座」 「寺子屋コーディネーター養成講座」	シニアの生活の心得を学ぶことができる。寺子屋事業に参加するための準備となり、ノウハウを得ることができる。
3)学習の成果を活かせるサポートの充実	学習の成果を活かせるシステムの確立	人材バンクの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の成果を生かすことができる機会が増える。</li> <li>講座を受講する側は、講師を探しやすくなる。</li> <li>さまざまなスキルを持ち社会・地域に参画する意欲を持つ人々をまとめるとともに、ニーズと仲介することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師の人気により、講師機会が多い人、少ない(全くない)人が生じる。</li> <li>よりよい人材バンクにするためには、どのような学びのニーズがあるか市民の希望を調査する必要がある。</li> </ul>		17	東大和市 「生涯学習人材バンク制度」	「知識・技能を教えたい」という方を登録・公開し、講師を探している方に紹介する制度。
	マッチング・システムのあり方					18	さいたま市 「人材バンク」	「知識・技能を教えたい」という方を登録・公開し、講師を探している方に紹介する制度。
	発表の場の充実	サークル紹介のイベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>見本市のようなやり方でブースを運営すると市民が様々なサークル活動を一覧し、確認できる。</li> <li>サークル間の連携が高まる。</li> <li>サークルメンバー拡充の機会となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各サークル間の調整が難しい。</li> </ul>		20	川崎市・中原区・高津区・多摩区・麻生区 「サークル連絡会」「市民館サークル祭」	学習成果発表やグループの活動を展示して学習意欲を育てる機会を作る。また市民に生涯学習効果のアピールをするなど。
	責任あるシステム運用							

基本施策	重点施策	提案内容	効果・魅力	課題・懸念	備考	No.	事例	概要
4)施設や場の拡充、専門職員の確保	施設や場の拡充	施設拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設が拡充することにより、活動場所・機会が増える。</li> <li>多世代の市民が多様な生涯学習プログラムを利用できる。</li> <li>安価で施設利用できる。</li> </ul>			21	三鷹市 「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」「地域で学べる場所」	平成29年4月にオープンした「防災対策の促進」「子どもたちの健やかな育ち」「高齢者・障がい者を含むすべての市民の福祉の向上ならびに健康の保持増進」「生涯学習・スポーツ推進」といった多様な機能を集約した施設。
	市民ニーズに合った施設運営	生涯学習相談窓口の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議室・機器等、学習活動に必要な情報を得られる。</li> <li>活動が身軽になるなど、利便性が高まる。</li> <li>学習者の負担(経済面も含め)が軽減される。</li> <li>市民のニーズを直接聞く事ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が利用しやすい会議室、機器類の準備ができるか。</li> <li>窓口の周知が必要。</li> </ul>		22	川崎市・中原区・高津区・多摩区・麻生区 「生涯学習相談ルーム、相談コーナー」「グループロッカー」等	グループ活動用会議室設置、ロッカー貸与、コピー機・印刷機器設置、学習相談窓口の設置
	適正な職員数の確保と専門職員の配置	専門職に特化した人材育成計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成計画を示すことで人事等の透明性が高まる。</li> <li>専門職を中心に将来にわたって計画的に採用し人材を育てていくために必要。</li> <li>社会教育主事や司書などの専門職員の育成から生涯学習や社会教育の振興につながり、文教都市くにたちのブランド向上に資する。</li> <li>専門職員の配置(採用、職分、異動など)の基準が明確になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般人事の通例(ジョブローテーション)との兼ね合いを図る必要がある。</li> </ul>		23	横浜市 「司書職人材育成計画」	図書館を取り巻く環境や司書職に期待される役割を分析し、日々の業務や研修を通じた人材育成の方向性を具体的に示している。
5)適切な事業評価方法の開発	社会教育施設の職員と多様なステークホルダー(関係者)が参画して振り返りを行う機会の設置	関係者が参画した事業振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が定量評価では捉え難い成果や課題を確認でき、より良い事業づくりにつなげられる。</li> <li>市民をはじめとするステークホルダー(関係者)が社会教育施設の活動や成果を深く知る機会になるとともに、多様な視点からモニターできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステークホルダー(市民等の関係者)を関心をもって集めることができるか。</li> </ul>		24	国立市 「公民館活動をふりかえる会—公民館研究集会の取り組み—」	市民・職員・行政管理者が一堂に会して、公民館事業をふり返る会を年1回開催する。それぞれ違う立場のものが、同じ事業の目的や成果をともに話し合うことで、次年度以降に新たな展開が生まれることを期待する。
	生涯学習や社会教育の役割や効果を表すことを目的とした、市民を読み手に据えたアニュアルレポート(年次報告書)の作成	市民を読み手に据えたアニュアルレポートの作成・公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>定量評価では捉え難い、社会教育機関としての社会教育施設の役割やその事業の効果を「見える化」し、定性評価の材料とすることができる。</li> <li>市民が目にすることで、生涯学習・社会教育への関心が高まったり、社会教育施設のアピールができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初年度作成のコスト。(手間暇、費用) ※次年度以降はフォーマットや執筆ノウハウが蓄積し、コストは低減されると思われる。</li> </ul>		25	立川市 「立川市子ども未来センター市民活動支援アニュアルレポート」	子ども未来センターで実施されている市民活動支援について毎年アニュアルレポート(年次報告書)を作成し、その役割や効果を発信している。